

市民1人あたりでは…

()は18年度

- 資産 248.5万円(249.1万円)……………△6,000円
- 負債 70.2万円(74.4万円)……………△42,000円
- 行政コスト 4.2万円(4.3万円)……………△1,000円

平成19年度の行政運営の結果、資産は前年度並みですが、負債は大きく減少しています。これは、借金(地方債)に依存することなく、国庫支出金などの財源確保に努めたことが大きな要因です。

また、行政コストも減少しており、行政のスリム化が進んでいる結果となりました。



●チェック。「市の家計簿」

高山市の財政のすがた

市では、財政状況をできるだけ分りやすく市民のみなさんに知っていただくため、平成19年度の「市の家計簿」であるバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュフロー計算書を作成しました。

バランスシート(貸借対照表)

貸方(負債の部)	
負債 借金(地方債)	594億8千万円 (629億7千万円)
退職手当引当金	69億7千万円 (77億2千万円)
負債計	664億5千万円 (706億9千万円)
正味資産	
国、県の補助金、資産形成に使った一般財源	1,684億9千万円 (1,660億3千万円)
負債・正味資産合計	2,349億4千万円 (2,367億2千万円)

●借金

学校、道路などを建設するため、市が銀行や国などから借入しているお金の残高です。

●退職手当引当金

年度末に市の職員が全員退職すると想定した場合の退職金の要支給額です。実際には、すぐに払うものではありませんが、将来発生するものとして負債に計上しています。

●正味資産

資産から負債を引いたもので、学校、道路などを建設するために使ったお金のうち、国や県から補助金としてもらったお金や、税金などの市のお金の総額です。

※数値は四捨五入で作成

バランスシート

貸方	
負債	70.2万円 (74.4万円)
正味資産	178.3万円 (174.7万円)
負債・正味資産合計	248.5万円 (249.1万円)

今回お知らせしているのは、平成19年度における市の普通会計(一般会計、学校給食費特別会計)の指標です。

このほか市全体(普通会計、その他特別会計)のバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュフロー計算書や連結(市全体、一部事務組合、第三セクター)のバランスシートも作成しました。

これらについては、市ホームページでご覧いただけます。

※数値は四捨五入で作成